

令和2年度（令和元年度事業対象）

平泉町教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告書

令和2年8月

平泉町教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受けて平泉町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たしていくために、令和元年度の平泉町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い本報告書にとりまとめました。

今回の結果については、これからの施策等に反映するとともに、継続的に事業の改善を図って参ります。

## 目 次

1	実施方法	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	点検評価結果	
	I 学校教育	4
	II 社会教育	13
	III 文化行政	28
	IV 生涯スポーツ	37
	V 新社会教育施設整備事業	41
4	評価委員会の意見	42
5	参考資料	48
	I 学校教育指導指針	48
	II 社会教育行政施策体系	51
	III 文化行政施策体系	52
	IV 生涯スポーツ振興体系	53

# 1 実施方法

(別紙)

## (1) 点検評価の対象について

点検及び評価の対象とする事務事業は、平泉町総合計画後期計画の施策体系に基づいて、令和元年度の教育委員会の主要な事務事業を対象とする。

## (2) 評価実施の流れについて

### 1) 一次評価（内部評価）

教育委員会が行った事業について、教育委員会内部で自己評価を行う。

### 2) 二次評価（外部評価）

一次評価を行った事業について有識者から意見を求める。

### 3) 教育委員会議の承認

### 4) 議会に対する報告書の提出・公表

報告書を議会に提出し、町民に公表（ホームページに掲載）する。

## (3) 評価委員会の設置について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定の趣旨に基づき、事務事業の点検及び評価を行うに際し、学校教育に関し学識経験を有する者、社会教育に関し学識経験を有する者及び地域代表者により構成する評価委員会を置き、意見を求める。

## 2 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の構成（令和元年度）

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	岩 淵 実	
教 育 長 職 務 代 理 者	本 澤 京 子	
教 育 委 員	三 澤 恒	
教 育 委 員	山 平 功 二	
教 育 委 員	三 浦 英 子	

### (2) 教育委員会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会を開催し、以下の議案等について審議した。

会 議 名	議 案 番 号	件 名	結 果
4 月 定 例 会 (4/24)	議案第 15 号	平泉町社会教育委員の任命について	可 決
第 3 回 臨 時 会 (6/5)	議案第 16 号	財産の取得に関し議決を求めることについて	可 決
6 月 定 例 会 (6/25)	議案第 17 号	平泉町社会教育委員の任命について	可 決
7 月 定 例 会 (7/23)	議案第 18 号	契約に関し議決を求めることについて	可 決
	議案第 19 号	平成 30 年度平泉町教育委員会の事務事業等に 係る点検評価事項（案）に関し意見を求めること について	可 決
	議案第 20 号	小学校及び中学校教科用図書採択に関し議決 を求めることについて	可 決
8 月 定 例 会 (8/23)	承認第 1 号	平成 30 年度平泉町教育委員会の事務事業等に 係る点検評価に関し承認を求めることについて	承 認
9 月 定 例 会 (9/25)	議案第 21 号	子どものための教育・保育に関する利用者負担 額を定める条例の一部改正に関し意見を求める ことについて	可 決
11 月 定 例 会 (11/25)	議案第 22 号	（仮称）平泉町社会教育施設設置条例の制定に ついて	可 決
	議案第 23 号	平泉町公民館設置条例の全部改正について	可 決
	議案第 24 号	平泉町立図書館設置条例の全部改正について	可 決
11 月 定 例 会 (11/25)	議案第 25 号	平泉町社会教育施設整備事業施設整備契約の締 結に関し議決を求めることについて	可 決
	議案第 26 号	指定管理者の指定に関し議決を求めることにつ いて	可 決
第 5 回 臨 時 会 (12/3)	議案第 27 号	平泉町社会教育指導員設置条例の廃止について	可 決

会 議 名	議 案 番 号	件 名	結 果
12月定例会 (12/20)	議案第28号	平泉町教育委員会教育長職務代理者の指名について	可決
1月定例会 (1/23)	議案第1号	平泉町教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について	可決
2月定例会 (2/14)	議案第2号	平泉町立学校教職員服務規程の一部改正について	可決
	議案第3号	令和2年度平泉町教育委員会教育行政方針について	可決
	議案第4号	令和2年度教育費予算(案)について	可決
第1回臨時会 (2/27)	議案第5号	教職員人事異動の内申について	可決
	議案第6号	平泉町教育委員会委員の辞職の同意について	可決
3月定例会 (3/26)	議案第7号	平泉町立図書館規則の一部改正について	可決
	議案第8号	平泉文化遺産センター設置条例施行規則の一部改正について	可決
	議案第9号	平泉町立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について	可決
	議案第10号	平泉町教育委員会における安全衛生管理規程の一部改正について	可決
	議案第11号	平泉町立図書館参与の任命について	可決
	議案第12号	平泉文化遺産センター参与の任命について	可決
	議案第13号	課長級の職員の人事について	可決
	議案第14号	平泉町社会教育指導員設置条例施行規則の廃止について	可決
	議案第15号	平泉町社会教育指導員設置要綱の制定について	可決
	議案第16号	平泉町総合型地域スポーツクラブ補助金交付要綱の制定について	可決
	議案第17号	平泉町社会教育委員の任命について	可決
	議案第18号	平泉町立幼稚園預かり保育実施規則の一部改正について	可決
議案第19号	平泉町文化財調査委員の任命について	可決	

### 3 点検評価結果

#### I. 学校教育（1. 学校経営・教育課程）

具体的施策	事業の内容
(1) 学校経営の充実	<p>1) 校長等会議の実施</p> <p>町内の町立幼稚園長、小・中学校長、副校長と教育委員会事務局による会議を行った。授業参観の際には、長島保育所長にも参加いただき、幼保小中の連携を図った。</p> <p>学校経営の充実を図るために、授業参観、情報交換を行った。</p> <p>第1回校長等会議：4月9日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成31年度教育行政方針について</li><li>・学校教育、社会教育関係事業について</li><li>・英語検定補助事業について</li><li>・教育支援推進事業について</li></ul> <p>第2回校長等会議：7月9日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平泉町立幼稚園・平泉中学校 参観</li></ul> <p>第3回校長等会議：8月30日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員一斉研修について</li><li>・管外視察研修について</li><li>・学力保障に係る取り組みについて</li><li>・小中交流研修会の実施について</li><li>・幼稚園公開保育研究会について</li></ul> <p>第4回校長等会議：11月12日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長島保育所、長島小学校 参観</li></ul> <p>第5回校長等会議：1月22日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平泉小学校 参観</li><li>・来年度の教育課程編成、行事予定について</li><li>・学力向上に係る資料について</li><li>・小学校プログラミング教育への取り組みについて</li><li>・キャリアパスポートの作成について</li></ul> <p>第6回校長等会議：2月27日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・C R Tの結果について</li><li>・防災タイムラインについて</li></ul>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>6回中3回の会議を幼保小中を会場として副校長も参加し実施した。授業参観を通して、それぞれの経営や、子どもたちの様子について共通理解を深めることができた。平成31年度4月の幼稚園教育要領の改訂、令和元年度、2年度の小中学校学習指導要領の改訂にあたり、新しく発行された関係資料の説明や、学力保障や授業改善に関する方向性についての意見交換ができた。</p>	

I. 学校教育（2. 学習指導）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 基礎学力の定着</p>	<p>1) 学習定着度調査            目標基準準拠検査（C R T）を実施し、児童、生徒の学力の実態を把握するための調査・分析を行った。</p> <p>①実施            1 2月実施            小学校 1年生～6年生 国語、算数            中学校 1・2年生 国語、社会、数学、理科、英語</p> <p>②分析            ・観点別・領域別 努力を要する部分について            ・今後の指導について</p> <p>③対策            分析結果を校長等会議で報告し、各校への取り組みを進めた。</p> <p>2) 小中交流研修会</p> <p>①実施            9月27日（金） 会場：長島小学校</p> <p>②参加者            町内小中学校教職員 教育委員会関係者</p> <p>③内容            長島小学校から授業提案があった、道徳、外国語活動、算数、特別支援をもとに授業研究会を実施した。どの教科についても活発な質疑応答がなされた。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>調査結果を受け、各校での成果と課題を明確にし、実際の出題内容や誤答傾向を紹介しながら経年比較による分析、評価を行った。</p> <p>小中交流研修会では、道徳、外国語活動、算数、特別支援の4分科会による提案授業・研究会を行うことにより、町内教職員にとっては新学習指導要領への理解が深められる良い機会となった。</p>	

I. 学校教育（2. 学習指導）

具体的施策	事業の内容
<p>(2) 特別支援教育の充実</p>	<p>1) 教育支援推進事業            専門家チームを組織し、町内の幼稚園、保育所、小・中学校を訪問した。子どもへの具体的な支援策について助言を行った。</p> <p>①定期巡回相談            町内の幼稚園、保育所、小・中学校の5施設を2回ずつ日程を決めて訪問を行った。</p> <p>②随時巡回相談            町の特別支援教育コーディネーターが、依頼に応じて随時訪問を行った。</p>



2) 特別支援教育支援員の配置

通常学級での支援を必要とする児童生徒の増加から、個に応じた支援を中心に行う支援員の配置を行った。

【配置】

平泉小学校：4人 長島小学校：3人 平泉中学校：3人  
計10人の特別支援教育支援員の配置

3) 特別支援教育支援員研修会の実施

特別な支援を必要とする児童・生徒への具体的な支援方法について学び、年度初めの早期からの支援教育の充実につなげるための研修会を行った。

①実施

5月10日(金) 13:30～16:00 会場：平泉町役場

②参加者

幼稚園、保育所、小・中学校特別支援教育CO、支援員等  
計18人

③講師

平泉町教育支援推進事業専門家チーム員	沖田 憲一 先生
子育て支援いっすね	菅原 梨沙 先生
一関清明支援学校	佐々木祐子 先生
一関清明支援学校	檜山 祐子 先生

4) 教育支援委員会の運営

心身に障がいをもつ幼児児童生徒について、合理的配慮のもと適正な就学、学びの場に係る協議・助言を行った。

①実施

年間3回(6月、10月、12月) 会場 平泉町役場


②参加者

精神科医、一関児童相談所心理司、一関清明支援学校教諭、保健センター所長・次長、幼稚園長、保育所長、町内小・中学校長、各校特別支援教育コーディネーター、平泉町教育委員会事務局員

【評価及び今後の方向性】

専門家チームによる取り組みを通して、教育支援課題の解決に向けて、具体的な改善ができた。特に、研修会では、各所属での支援の状況や成果・課題について活発な協議が行われた。町内では、支援を要する児童生徒等の人数が増加傾向にあり、それに伴い、知能検査等の検査依頼件数が増加している。さらには検査者の確保が課題である。学校関係者からは支援員数のさらなる増加を望む声が多い。

## I. 学校教育（2. 学習指導）

具体的施策	事業の内容																														
(3) 英語教育の充実	<p>1) A L T（外国語指導助手）配置事業            町内でA L Tを2名配置した。うち1名が中学校配置、もう1名は幼保小担当として配置した。幼保小については、曜日ごとに各所を訪問し、ネイティブな英語に慣れ親しむ機会を増やした。</p> <p>2) 検定補助事業            中学校の全生徒を対象に英語検定への全額補助事業を行った。</p> <p><b>【平成30年度】</b></p> <table border="1" data-bbox="475 555 1449 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ人数／ 在籍人数</td> <td>122／59</td> <td>198／66</td> <td>115／58</td> <td>435/183</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>206.7 %</td> <td>300.0 %</td> <td>198.2 %</td> <td>237.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"></p> <p><b>【令和元年度】</b></p> <table border="1" data-bbox="475 869 1449 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ人数／ 在籍人数</td> <td>123／64</td> <td>181／58</td> <td>138／70</td> <td>442/192</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>192.2 %</td> <td>312.1 %</td> <td>197.1 %</td> <td>230.2 %</td> </tr> </tbody> </table>		1年生	2年生	3年生	計	延べ人数／ 在籍人数	122／59	198／66	115／58	435/183	割合	206.7 %	300.0 %	198.2 %	237.7 %		1年生	2年生	3年生	計	延べ人数／ 在籍人数	123／64	181／58	138／70	442/192	割合	192.2 %	312.1 %	197.1 %	230.2 %
	1年生	2年生	3年生	計																											
延べ人数／ 在籍人数	122／59	198／66	115／58	435/183																											
割合	206.7 %	300.0 %	198.2 %	237.7 %																											
	1年生	2年生	3年生	計																											
延べ人数／ 在籍人数	123／64	181／58	138／70	442/192																											
割合	192.2 %	312.1 %	197.1 %	230.2 %																											
<b>【評価及び今後の方向性】</b>	<p>小学校3，4年生では、外国語活動の授業（年間標準で35時間）が2年目である。また、5，6年生では、2020年度からの新学習指導要領における年間標準70時間の確保について検討され、平泉小、長島小では先行実施された。小学校での外国語活動により、今後は英語の学習に対する関心・意欲が一層高まることが期待される。教員への負担増加を軽減するためにも、外国語指導助手、担当教員、A L TによるT T指導の継続が一層期待される。検定補助事業については、今後も英語検定への全額補助を行う方向で考えたい。</p>																														

I. 学校教育（3. 豊かな心を培う教育活動）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 生徒指導の充実</p>	<p>1) 適応支援相談員配置 不登校や別室登校の児童生徒の学校適応を図るための相談員を配置した。</p> <p>【実績】 適応支援員の配置（平泉中学校に1人） 配置中学校区内の小中学校への訪問相談 *不登校発生率（R1から新たに不登校（月7日以上欠席または年30日以上欠席の状況）になった生徒の割合） H29年度 0.90%、H30年度 0.18%、R1年度 1.09%</p>
<p>【評価及び今後の方向性】 新たに不登校になったのは、4年生1名、5年生3名、6年生1名、中学3年生1名の計6名である。以前から欠席がちであった生徒については、適応支援員によるきめ細やかな支援等により欠席日数が減少している。平泉中では、複数の生徒が別室に短時間登校をするため、支援員等が不足することがある。町内では、支援を要する児童生徒等の人数は増加傾向にあるため、学校関係者からは支援員数の増加を望む声が多い。</p>	

I. 学校教育（3. 豊かな心を培う教育活動）

具体的施策	事業の内容
<p>(2) 豊かな心を育む情操教育</p>	<p>1) 読書推進員配置事業 児童生徒がより本に親しみ、本を活用できる環境を整えるために、読書推進員を配置し、図書館教育の充実を図った。</p> <p>【実績】 ①配置 読書推進員1名を町内小中学校へ巡回配置した。 勤務：平泉小に週2日（月水）、長島小に週2日（火木）平泉中に週1日（金） ②業務内容 ・新刊図書購入リスト作成補助と受け入れ作業 ・平泉町立図書館からの本の団体貸出、管理、返却 ・図書館ボランティアと連携した読み聞かせ、本の紹介 ・図書委員会の活動サポート ・卒業祝品の図書リスト作成 ・本の修繕 など</p>
<p>【評価及び今後の方向性】 館内装飾や書架表示の作成等の環境整備、児童生徒・教職員への図書紹介や読み聞かせ等により、読書に対する関心、図書館の活用意識は高い水準で維持されている。 読書活動に合わせた出勤時間、曜日の弾力的運用については今後も柔軟に考えて、対応していきたい。</p>	

I. 学校教育（4. 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を 目指した指 導</p>	<p>1) 学校警察連絡協議会事業 児童・生徒の健全育成のために、各関係機関との連携を図る。</p> <p>①実施</p> <p>第1回 総会 6月12日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の運営報告及び本年度の運営計画について</li> <li>・いじめ防止基本方針について</li> <li>・町内、管内の生徒指導に係る情報交換</li> </ul> <p>第2回 補導部会 7月8日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の問題行動、いじめ等について</li> <li>・夏期休業における指導の確認と情報交換</li> </ul> <p>第3回 補導部会 12月6日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の問題行動、いじめ等について</li> <li>・冬期休業における指導の確認と情報交換</li> </ul> <p>②参加者</p> <p>一関警察署交通安全課長、町内駐在所長、所員、県南教育事務所、在学青少年指導員、各小・中学校長、各校生徒指導担当、平泉町、教育委員会事務局員</p>
<p><b>【評価と今後の方向性】</b></p> <p>児童・生徒の健全育成に係る現状について、関係機関と情報交換を行うとともに、各校の生徒指導の様子について協議、情報交換できた。</p> <p>また、「登下校防犯プラン」に係る防犯上心配される箇所の有無について話し合うことができた。</p> <p>児童・生徒の健全育成にかかわって、今後も問題行動、いじめの未然防止、早期対応について検討していきたい。</p>	

I. 学校教育（4. 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を 目指した指 導</p>	<p>2) 学校給食の充実</p> <p>食を通して児童生徒の健康の維持・改善を図るため、学校給食の改善向上を図っていく。</p> <p>年間給食実施回数 175回(平泉小学校・長島小学校) 160回(平泉中学校)</p> <p>○平泉町学校給食協議会各種事業</p> <p>学校給食実施校相互の連絡協議と学校給食の改善向上を図るため、各種事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度学校給食協議会総会(6月10日)</li> <li>・調理研修会及び給食衛生研修会(8月7日)</li> <li>・親子調理実習教室(12月21日)</li> <li>・学校給食協議会だより発行(1月)</li> </ul>

	<p>・令和元年度平泉町学校給食協議会活動反省会(2月17日)</p> <p>○学校給食食材放射性物質検査</p> <p>① 給食食材 24件</p> <p>② 給食 平泉小学校 38食 長島小学校 36食 平泉幼稚園・平泉保育所 50食 長島保育所 50食</p> <p>*検査の結果、放射性セシウム134、137はすべて不検出</p>
--	---

**【評価及び今後の方向性】**

給食食材における放射性物質検査を引き続き実施し、随時情報提供を行い保護者の不安解消に努めた。

また、学校給食等における食物アレルギーの対応として町内の学校や保育所等の対応状況について情報交換するための対応委員会を開催し、食物アレルギーによる事故の防止と発生時の対応について意識強化を図った。

**I. 学校教育（4. 健康の保持・増進）**

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を目指した指導</p>	<p>3) 学校保健の充実</p> <p>学校保健安全法に基づき児童・生徒を対象とした検診を実施した。</p> <p>①内科検診 対象：幼稚園・小学校・中学校 平泉幼稚園 38人（受診勧奨者：0人） 平泉小学校 257人（受診勧奨者：3人） 長島小学校 88人（受診勧奨者：2人） 平泉中学校 200人（受診勧奨者：5人）</p> <p>②耳鼻科検診 対象：小学校・中学校 平泉小学校 255人（受診勧奨者：73人） 長島小学校 88人（受診勧奨者：40人） 平泉中学校 200人（受診勧奨者：10人）</p> <p>③眼科検診 対象：小学校・中学校 平泉小学校 250人（受診勧奨者：61人） 長島小学校 88人（受診勧奨者：20人） 平泉中学校 200人（受診勧奨者：49人）</p> <p>④歯科検診 対象：幼稚園・小学校・中学校 平泉幼稚園 38人（受診勧奨者：0人） 平泉小学校 258人（受診勧奨者：108人） 長島小学校 88人（受診勧奨者：33人） 平泉中学校 200人（受診勧奨者：31人）</p>

	<p>⑤尿検査 対象：小学校全学年・中学校全学年  平泉小学校 260人（受診勧奨者：1人）  長島小学校 88人（受診勧奨者：0人）  平泉中学校 199人（受診勧奨者：1人）</p> <p>⑥心臓検診 対象：小学1年生・中学1年生  平泉小学校 42人（受診勧奨者：3人）  長島小学校 14人（受診勧奨者：0人）  平泉中学校 66人（受診勧奨者：1人）</p> <p>⑦脊柱側弯検診 対象：小学5年生・中学1年生・前回有所見者  平泉小学校 43人（受診勧奨者：2人）  長島小学校 17人（受診勧奨者：0人）  平泉中学校 61人（受診勧奨者：0人）</p> <p>⑧貧血検査 対象：中学1年生  平泉中学校 62人（受診勧奨者：1人）</p> <p>⑨生活習慣病予防検診 対象：小学4年生・中学1年生  平泉小学校 38人（受診勧奨者：1人）  長島小学校 16人（受診勧奨者：1人）  平泉中学校 62人（受診勧奨者：1人）</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>学校医及び予防医学協会の実施のもと、適正な健康診断を行い疾病の早期発見や健康管理に取り組んだ。</p> <p>生活習慣病予防検診については、食生活やライフスタイルの変化、運動不足などにより小児期から始まる生活習慣病の予防のためにも、今後も継続的に取り組む。</p> <p>また、必要に応じて学校医に助言を求めるほか、小中学校との連携を密にしながら今後も取り組んでいく。</p>	

#### I. 学校教育（4. 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
(1) 健康・安全な生活を目指した指導	<p>4) 就学援助対策</p> <p>経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し必要な援助を行う。</p> <p>①要保護世帯への医療費・修学旅行費扶助  →医療費 0名 修学旅行費 0名</p> <p>②準要保護世帯への学用品費・修学旅行費・校外活動費・新入学児童生徒学用品費等・クラブ活動費・生徒会費・児童会費・PTA会費・医療費・給食費扶助</p> <p>学用品費 66名(小学校39名、中学校27名)  修学旅行費 13名(小学校6名、中学校7名)  校外活動費 32名(小学校18名、中学校14名)  新入学児童生徒学用品費 9名(小学校2名、中学校7名)  クラブ活動費 26名(小学校0名、中学校26名)</p>

	<p>生徒会費 26名(小学校0名、中学校26名)          児童会費 28名(小学校28名、中学校0名)          P T A会費 49名(小学校25名、中学校24名)          医療費 0名          給食費 67名(小学校39名、中学校28名)</p> <p>5) 育英資金運営          経済的な理由により修学困難な者に対し学資の貸与を行うことで、将来有能な人材の育成を図る。          新規資金貸与者 3名(大学生2名、高校生1名)          前年度からの継続貸与者 9名(大学生9名)</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>就学援助事業については、次年度の新入学生に対して入学前支給を行い、必要な経費を必要な時期に支給することができた。今後も国や近隣市町村の動向を確認しつつ、児童生徒が安心して学業に取り組めるよう必要な対応を行う。</p> <p>育英資金の運営については、滞納者へ督促状の送付や電話等による連絡を行うことにより、滞納金の減額に努めた。貸付者へは、個々の状況に応じ適正な貸付を行った。</p> <p>今後は社会の情勢等を踏まえ事業の内容について検討しながら、事業の安定運営に取り組んでいく。</p>	

## I. 学校教育 (5. 教育環境の整備)

具体的施策	事業の内容
(1) 学校施設整備	<p>1) 学校施設環境改善            近年の厳しい気象条件に対応するため、熱中症対策として各学校に空調設備を整備した。</p> <p>平泉小学校 普通教室14室 特別教室(音楽室・理科室) 3室            長島小学校 普通教室8室 特別教室(音楽室・理科室) 2室            平泉中学校 普通教室9室 特別教室(音楽室・理科室) 3室</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>各学校へ空調設備を設置することにより、児童生徒の健康や学習環境の確保の観点から、温度の適切な管理に努めることができることとなった。</p> <p>今後、空調設備の稼働のため夏季の電気量の増加や、維持管理費及び設備更新等が必要となり、財政へ負担がもたらされるものと思われる。</p>	

## Ⅱ. 社会教育（1.生涯学習環境の整備）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 生涯学習推進体制の整備</p>	<p>1) 生涯学習町民のつどいの開催</p> <p>町民の生涯学習への意欲向上と、豊かな人間性を育み日常生活に生きがいを感じながら自己実現に向けた学習への取り組みを推進するため、「生涯学習町民のつどい」を開催した。</p> <p>○開催日 令和2年2月16日（日）13:00～16:00</p> <p>○会場 平泉小学校体育館</p> <p>○参加者 町民等332人</p> <p>○内容 成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平泉幼稚園、保育所 “謡” 曲名：「鞍馬天狗」、「老松」</li> <li>・長島保育所 “鼓隊演奏” 曲名：「宇宙戦艦ヤマト」、「ザ・ビートルズメドレー」</li> <li>・読み聞かせグループ たろうアンドはなこ “絵本の読み聞かせ” 題名：「きよだいなきよだいな」</li> <li>・10区子ども会 地域学習の取り組み「獅子舞」</li> <li>・平泉町教育委員会 事業発表 黄金平泉情報発信プロジェクトについて 平泉町教育委員会 社会教育主事 安倍 雅人 平泉小学校 6年 千葉 舜太 長島小学校 6年 菊地 奈央</li> <li>・教育振興運動実践活動発表 長島小学校合奏団の取り組み 長島小学校PTA会長 及川 誉士夫 長島小学校副校長 加藤 未由子</li> <li>・長島小学校 マーチング 曲名：「ディズニーパレードシークエンス」、 「ブリッツクリーグバップ」</li> <li>・郷土芸能体験講座「達谷毘沙門神楽の取り組み」 講座受講生、達谷毘沙門神楽 演目：「御神楽」、「くずし舞」</li> <li>・平泉小学校 独唱 曲名：「とどけようこのゆめを」 歌唱 3年 藤原 蓮 伴奏 6年 遠藤 悠香 曲名：「つばさをください」 歌唱 5年 佐藤 真鈴 伴奏 6年 阿部 ひかり</li> <li>・平泉中学校 合唱アンサンブルとフルート三重奏 曲名「一番はじめは」 チーム虹（1年生）</li> </ul>





## Ⅱ. 社会教育（2. 家庭教育の振興）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 家庭教育の充実</p>	<p>1) 幼児学級・家庭教育学級の開設</p> <p>町内の幼稚園、保育所及び小・中学校にそれぞれ幼児学級又は家庭教育学級を開設し、延べ11回で990人の参加があった。</p> <p>①二葉きらり園幼児学級（3回／保護者145人、幼児131人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/29 教育講演と実技「幼児期の運動遊び・食育指導」</li> <li>・1/25 教育講演と実技「幼児期の運動遊び」</li> <li>・2/20 お茶会</li> </ul> <p>②長島保育所幼児学級（2回／保護者112人、幼児57人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/5 座禅体験</li> <li>・2/14 お茶会</li> </ul> <p>③平泉小学校家庭教育学級（1回／保護者44人、児童42人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/3 親子歯みがき指導</li> </ul> <p>④長島小学校家庭教育学級（3回／保護者206人、児童102人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/19 親子歯みがき指導</li> <li>・11/9 親子ふれあいコンサート</li> <li>・11/14 教育講演「土台をかためピッカピカの1年生」</li> </ul> <p>⑤平泉中学校家庭教育学級（2回／保護者15人、生徒136人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/1 講話及び座談会「親子で考える性の話」</li> <li>・11/11 講話及び体験学習「能舞台への道案内」</li> </ul> <p>○新平泉町総合計画目標指標（参加者数）の進捗状況</p> <p>令和2年度目標値 1,300人</p> <p>【実績】令和元年度 990人 平成30年度 778人 平成29年度 674人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>保護者が参加しやすいよう参観日に併せて実施するなど、各学校等の協力を得て実施し、参加者の増加が図られた。</p> <p>この家庭教育学級は、保護者どうしの情報交換や家庭教育の仕方などを学ぶ機会としても有効であることから、引き続き各学校等と連携しながら、各校3回の実施を目標に内容の充実を図って行く。</p>	

## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 青少年教育（事務局実施分）</p>	<p>1) 放課後子ども教室</p> <p>放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用して、地域ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの遊び場を確保し、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの子どもの居場所づくりを行った。</p> <p>○教室数 3教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平泉わくわくフィールド」（平泉小） 毎週月・水・木曜日など年間 58 日 児童 延べ 3,649 人 学習アドバイザー 延べ 115 人 ボランティア 延べ 171 人</li> <li>・「長島わくわくフィールド」（長島小） 毎週月・木曜日など年間 48 日 児童 延べ 2,458 人 学習アドバイザー 延べ 24 人 ボランティア 延べ 87 人</li> <li>・「平泉中わくわくフィールド」（平泉中） (※文化行政の「芸術鑑賞機会の拡充」事業としても実施) 土曜学習「神楽体験講座」 町内小学校高学年から中学生を対象に、地域の伝統芸能を学ぶ郷土芸能体験講座「達谷窟毘沙門神楽」を実施 受講生 平泉中 6 人、平泉小 3 人 参加者 延べ 99 人 学習アドバイザー 延べ 79 人</li> </ul> <p>※特別出演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4/29 「達谷窟春季大祭観櫻會」</li> <li>9/29 「中尊寺通りホコ天まつり」</li> <li>10/27 「平泉中学校文化祭」</li> <li>11/3 「ひらいずみ産業まつり」</li> <li>12/7 「南部神楽鑑賞会」</li> <li>2/16 「生涯学習町民のつどい」</li> </ul> <p>2) 学校支援地域本部事業</p> <p>地域住民の協力（ボランティア）を得ながら、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校の要請に応えるさまざまな学校支援活動を行うことによって教員の負担を軽減し、子どもたちに向き合い、きめ細かな指導ができる時間の拡充を図った。</p> <p>○実施学校数 3 学校（平泉小、長島小、平泉中）</p> <p>○学習支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平泉小…本修理、読み聞かせ、マラソン大会補助、菊作り、生け花、草取り、登下校見守りなど</li> </ul>

- ボランティア 延べ回数 309 回、延べ人数 6,392 人
- ・長島小…ミシン指導、読み聞かせ、マラソン大会補助、  
楽器指導、生け花、草刈り、登下校見守りなど
- ボランティア 延べ回数 280 回、延べ人数 3,524 人
- ・平泉中…よさこい指導、生け花、部活指導など
- ボランティア 延べ回数 134 回、延べ人数 650 人

### 3) 教育振興運動

子ども、親、教師、地域、行政の 5 者が連携・役割分担しながら、地域教育力や学力の向上をめざし、家庭学習の充実、読書活動の推進、家庭教育の充実、あいさつ運動、平泉学への取り組み、情報メディアへの取り組み学校支援活動などに取り組んだ。

#### ○平泉町教育振興運動推進協議会総会

日 時 令和元年 6 月 21 日 (金) 13:30~15:00

場 所 平泉町役場 2 階 201 会議室

出席者 委員 13 人、幹事・事務局 7 人 計 20 人

内 容 平成 30 年度事業実績、令和元年度推進計画 (案)

#### ○平泉町教育振興運動推進協議会幹事会

日 時 令和元年 5 月 29 日 (水)、12 月 17 日 (火)

場 所 平泉町役場 2 階庁議室、3 階委員会室 2

出席者 5/29 幹事 6 人、事務局 5 人 計 11 人

12/17 幹事 6 人、事務局 5 人 計 11 人

内 容 事業の進捗状況、今後の取り組みについて

#### ○親子ふれあい教室

日 時 令和元年 11 月 2 日 (土)

令和元年 11 月 3 日 (日)

場 所 平泉町立幼稚園 園舎ホール

参加者 親子等 計 214 人

内 容 親子や家族で楽しめるイベント、体験活動

##### ①ほっこり～またっり～コンサート

出演: takaTAKAα 吉野崇さん・古川大さん 50 人

##### ②絵本読み聞かせライブ

出演: パパ♡イ～ヨ、かみふうせん 60 人

##### ③サイエンスショー&親子工作教室

講師: 岩手大学理工学部 37 人

##### ④手づくり体験村 in 平泉 67 人

夜光貝アクセサリー作り体験 講師 丸山聡子さん

銅板加工体験 講師: 鈴木正人さん

パタパタおもちゃ作り体験 講師 表具工房オイカワ

#### ○教育振興運動推進大会

開催日 令和 2 年 2 月 16 日 (日) 13:00~16:00

会 場 平泉小学校体育館

参加者 町民等 332 人

教育振興運動実践活動発表

長島小学校『長島小学校合奏団活動』の取り組み

発表者 長島小学校PTA 会長 及川誉士夫さん

○情報誌の発行

教育振興運動情報誌「きょうしん」の発行（各3,500部）

第20号（7/20発行）、第21号（12/20発行）

第22号（3/13発行）

○実践区活動

平泉小・長島小・平泉中の各実践区における「家庭学習の充実」

「読書活動の推進」「平泉学」「家庭教育の充実」「あいさつ運動」

「情報メディアに関する取組」などの取り組み

○地域学習（平泉学）への取り組み

子どもを中心に保護者、地域住民が一堂に会し、地域の歴史や文化などを学ぶ地域学習を行政区毎に開催

実施行政区数 21行政区

参加者延べ553人（子ども237人、保護者177人、地域139人）

内容 地元歴史学習、地域風習「縄ない」体験、稲刈り体験、郷土料理はっと作り、郷土芸能体験、昔遊び他

4) わくわく平泉学スクール

私たちが住む町「ひらいずみ」について、子ども達が郷土の歴史や文化、産業などを様々な角度から楽しく、わかりやすく学習する機会を提供するとともに、次代を担う子ども達の情操教育・郷土愛の醸成を図った。また、講師を町内から選定し、様々な分野における「ひらいずみ」の持つ魅力を子ども達に提供しながら、世代間交流につなげた。

平泉小学校	①3年生	歴史講話・現地見学	42人受講
	②6年生	歴史講話	5人受講
	③3年生	調べ学習	42人受講
	④4年生	調べ学習	50人受講
長島小学校	①5年生	歴史講話・現地見学	18人受講
	②6年生	歴史講話・現地見学	18人受講
	③4年生	歴史講話・現地見学	14人受講
平泉中学校	①1年生	写経・座禅体験	67人受講
	②1年生	拓本・土器洗浄体験	67人受講
	③3年生	平泉ガイド体験	70人受講

5) 第10回世界遺産学習全国サミット in なら参加

町内小中学校の世界遺産学習への取り組みを紹介するため、本サミットに出席し全国に向け情報発信を行った。

期 日 令和2年2月7日（金）～8日（土）

会 場 奈良教育大学（奈良県奈良市）

参加者 発表者：教諭2名

## 6) 黄金平泉情報発信プロジェクト

平泉縁の地、世界遺産関連地等を訪れ、児童の「平泉学習」及び「世界遺産学習」を推進するとともに、訪問地での児童交流を通じて、他地域の地域学習の取り組みを学び、見分を広め、友好を深め、社会性を身に付けながら、平泉の価値・魅力を積極的に発信する力を養うことを目的にリーダー研修事業を実施。

- 期 日 ①事前研修 7月7日(日)、13日(土)、26日(金)
- ②児童交流 7月13日(土)、14日(日)
- 9月23日(月・祝)
- ③宿泊研修 7月31日～8月2日 2泊3日

- 場 所 ①町役場、町内
- ②町内、福島県国見町
- ③広島県広島市・廿日市市・呉市

- 参加者 町内小学校5・6年生 15人
- (9/23は追加募集により計24人参加)

- 内 容 ①事前研修  
参加者及び保護者向けガイダンス、オリエンテーション、世界遺産キャンドルづくり、訪問地学習、平泉PRパネル作成等
- ②福島県国見町との児童交流  
7/13…対面式、町内散策  
7/14…水かけ神輿への参加交流  
9/23…桃狩り体験、義経まつりへの参加交流
- ③宿泊研修  
歴史学習、世界遺産学習、地域学習、平和学習、児童交流

## 7) いわて希望塾への生徒派遣

全県で行う中学生リーダー研修に平泉中学生を派遣し、積極的に岩手の復興や地域づくりを担おうとする心豊かで意欲に満ちた人材の育成を図った。

- 期 日 11月2日(土)～11月4日(月) 2泊3日
- 研修先 岩手県沿岸地域、岩手県立陸中海岸青少年の家
- 参加者 平泉中学生 1人(2年生)
- 内 容 コース別学習(被災沿岸地域の現地見学)、復興学習、グループディスカッション、ふじポンミニトークショー、サロン「未来へのヒント部屋」等

### 【評価及び今後の方向性】

5者(子ども、親、教師、地域、行政)が互いに連携しながら教育振興運動や教育支援活動の実践活動に取り組み、子どもたちの教育課題を明確にしなが、その解決のための実践活動に連携しながら取り組むことができた。

小学生高学年を対象としたリーダー研修事業「黄金平泉情報発信プロジェクト」では、宿泊研修で広島県広島市、廿日市市、呉市を訪れ、『情報発信』と『地域学習』を

テーマに各種学習や児童交流を実施し、将来の平泉を担う人材育成に努めた。また、類似事業と事業内容の精査を行い、昨年度まで福島県国見町との交流事業として開催していた「ジュニア平泉文化歴訪団」と事業統合することで、リーダー研修事業の質を高めた。

その他の事業についても、子ども・親・地域が連携しながら「平泉学」への取り組みを充実することができた。

今後も、地域の教育課題を町全体で捉え、地域住民との連携により子どもの教育環境の整備、学力向上、地域の将来を担う人材の育成を図っていく。

## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(1) 青少年教育（公民館実施分）	<p>1) 親子ふれあい教室</p> <p>①対象者 小学1～3年とその保護者</p> <p>②実施回数 6回</p> <p>③親子27組、延べ171人（保護者79人、児童92人）</p> <p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/1（土）読み聞かせ</li> <li>・6/29（土）風船で遊ぼう</li> <li>・8/10（土）遠足（ヤクルト工場／北上市） （宮沢賢治童話村／花巻市）</li> <li>・9/7（土）イワナつかみ取り（衣川ふるさと自然塾）</li> <li>・10/5（土）クッキング（洋菓子作り）</li> <li>・12/1（日）クリスマスキャンドル作り（県南青少年の家）</li> </ul> <p>2) わんぱく塾</p> <p>①対象者 小学4～6年</p> <p>②実施回数 7回（うち1回中止）</p> <p>③延べ 157人</p> <p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/8（土）クイズラリー・勾玉作り</li> <li>・7/6（土）デイキャンプ（大文字キャンプ場）</li> <li>・8/5～6（土、日）キャンプ（登米森林公園／宮城県登米市）</li> <li>・9/14（土）イワナつかみ取り（衣川ふるさと自然塾）</li> <li>・<del>10/12（土）遠足（うみの柱水族館）</del> ※台風により中止</li> <li>・11/16（土）料理体験（アップルパイ・団子汁）</li> <li>・12/14（土）スケート（みどりの郷スケート場・金ヶ崎町）</li> </ul> <p>3) かるた教室</p> <p>①対象者 幼稚園、保育所園児～小学生</p> <p>②実施回数 平泉、長島地区 各3回</p> <p>③延べ 143人（実人数／園児22人・小学生30人）</p> <p>④実施内容 1/7～9（午前：平泉、午後：長島） 小倉百人一首の基礎</p>

- 4) 新春かるた大会
- ①対象者 幼稚園、保育所園児～小学生
  - ②実施日 2/11(火) 会場：芭蕉館2階大広間
  - ③延べ 24人(実人数/園児6人・小学生18人)
- 5) ジュニアスキー&スノーボード教室
- ①対象者 小学3年～中学生
  - ②実施回数 3回
  - ③延べ 93人
  - ④実施日 1/11(土)、1/18(土)、1/25(土)
  - ⑤場所 岩手高原スノーパーク(雫石町)
- 6) パソコンキッズスクール
- ①対象者 小学3～6年
  - ②実施回数 3回
  - ③延べ 59人
  - ④実施日 7/29(月)～31(水)
  - ⑤実施内容 パソコンの基礎、プリントTシャツ・うちわ作成
- 7) 親子英会話教室
- ①対象者 幼稚園、保育所園児～小学2年の親子
  - ②実施回数 6回
  - ③親子4組、延べ41人(保護者16人、児童25人)
  - ④実施日 8/25(日)～9/29(日)の間の毎週日曜日
  - ⑤講師 国際交流員(役場観光商工課所属)
- 8) 親子銅版細工教室【新規】
- ①対象者 小学生(1～3年は保護者同伴)
  - ②実施日 8/3(土)
  - ③延べ 14人(保護者4人、児童10人)
- 9) 少年少女将棋教室(開催中止)
- ①対象者 小学生
  - ②実施回数 ~~4回(予定日3/23(月)～26(木))~~
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### 【評価及び今後の方向性】

親子ふれあい教室など親子で参加できるものや、わんぱく塾など、学校などで普段体験できないような内容を中心に季節に応じた各種事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講座もあったが、特に事故もなく概ね好評であった。

今後も、児童生徒の自発的な活動や集団行動などを学ぶ場として、安全に十分留意しながら各種事業を実施していく。

また、20代から30代の若い年代を対象とした青年講座については、今後新たな開設に向け検討を進めていく。



## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(2) 女性教育	<p>1) 移動女性学級</p> <p>平泉地区及び長島地区婦人会の会員を対象に女性学級を開催し、手作り体験の学習及び会員相互の親睦を図った。</p> <p>①実施日 8月18日(日)</p> <p>②内容 書き駒教室</p> <p>③場所 将棋むら天童タワー(山形県天童市)</p> <p>④参加者 45人(平泉26人・長島19人)</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>平泉地区及び長島地区の婦人会が合同で実施することにより、手作り体験を通して相互の交流を深めることができた。</p> <p>今後も、女性を対象とした学習や交流の場として継続して実施する。</p>	

## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(3) 一般成人教育	<p>1) 歴史教室</p> <p>平泉の歴史や文化などを学ぶ場として、文化遺産センターを会場に3回開催し、延べ289人の参加があった。</p> <p><b>【第1回】</b></p> <p>①内容 講演「藤原三代と史都平泉の風景」</p> <p>②講師 早稲田大学講師 藤島幸彦氏</p> <p>③期日 12月19日(木)</p> <p>④参加者 95人</p> <p><b>【第2回】</b></p> <p>①内容 講演「平泉政権の虚実」</p> <p>②講師 東北大学名誉教授 入間田宣夫氏</p> <p>③期日 1月24日(金)</p> <p>④参加者 104人</p> <p><b>【第3回】</b></p> <p>①内容 講演「全盛期の奥州藤原氏と平泉を再現する」</p> <p>②講師 弘前大学名誉教授 斉藤利男氏</p> <p>③期日 2月17日(月)</p> <p>④参加者 90人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>平泉の歴史に関する専門家等を講師に招き、町内外から毎回100人ほどの参加があり大変好評を得た。</p> <p>今後も、平泉の歴史や文化に関する学習機会を提供するため、講師やテーマなど内容の充実を図りながら継続して実施していく。</p>	

## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(4) 高齢者教育	1) 東夷大学・東稲大学 高齢者が健康で生きがいに満ちた生活を送るための一助として、平泉及び長島地区にそれぞれ高齢者大学を開設し、学習や交流の場を提供する。 ①大学名 東夷大学（平泉地区） 東稲大学（長島地区） ②実施回数 各8回 ③延べ人数 東夷大学 289人 東稲大学 248人 ④実施内容 ・5月 民話と昔語り（いわいの里ガイドの会） ・6月 図書館長講話 ・7月 ジャンボ紙芝居（人形劇グループどんぐり） ・9月 交通安全教室（歩行環境シミュレーター体験ほか） ・10月 町外研修（遠野ふるさと村ほか／遠野市） ・11月 健康講話・健康体操 ・12月 三味線鑑賞・行政相談講座 ・2月 歴史講話「平泉の歴史」（文化遺産センター館長）
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 各大学とも毎回楽しみに参加している方も多く、閉校式での皆勤賞や修了証書を目指し、活発な参加がみられた。 今後も、より多くの方に参加いただけるよう、内容の充実を図りながら継続して実施していく。	

## II. 社会教育（3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(5) 町民講座	1) 登山教室 ①回数／人数 3回／延べ43人 ②実施内容 ・5/24（金）安比高原（八幡平市） 17人 ・7/12（金）岩手山麓（八幡平市） 11人 ・9/27（金）姫神山（盛岡市） 15人 2) ガーデニング教室 ①回数／人数 4回／延べ64人 ②実施内容 ・4/26（金）米山チューリップまつり（登米市） 19人 ・5/31（金）寄せ植え講習（苗工房かつやま／奥州市） 12人 ・6/21（金）バラまつり（花巻温泉バラ園） 20人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12/25 (水) 門松寄せ植え講習 (花と泉の公園)</li> </ul>	13人
3)	<p>地元のパソコン教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 5~11月/17回</li> <li>②延べ 133人</li> </ul>	
4)	<p>ウォーキング教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①回数/人数 5回/延べ62人</li> <li>②実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/28 (火)【山野草編】西行桜の森 14人</li> <li>・ 6/12 (水)【歴史編】長島遠代田地区 15人</li> <li>・ 6/25 (火)【歴史編】平泉達谷地区 9人</li> <li>・ 10/10 (木)【歴史編】平泉中心部 15人</li> <li>・ 10/25 (金)【山野草編】経塚山 (奥州市) 9人</li> </ul> </li> </ul>	
5)	<p>美文字教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 6~11月/6回</li> <li>②延べ 115人</li> <li>③実施内容 ペン習字の基本、手紙や年賀状の書き方。</li> </ul>	
6)	<p>チャレンジクッキング教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 9~2月/6回</li> <li>②延べ 89人</li> <li>③実施内容 和、洋、中、和菓子、洋菓子、総菜パン</li> </ul>	
7)	<p>謡曲教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 1月/5回</li> <li>②延べ 57人</li> </ul>	
8)	<p>苔玉教室【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①実施日 7/26 (金)</li> <li>②参加者 20人</li> <li>③実施内容 苔玉の制作</li> </ul>	
9)	<p>クラフト教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 6~10月/5回</li> <li>②延べ 52人</li> <li>③実施内容 紙工芸品の制作</li> </ul>	
10)	<p>あみもの教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 9~10月/3回</li> <li>②延べ 31人</li> <li>③実施内容 帽子の編み物の制作</li> </ul>	
11)	<p>フラワーアレンジメント教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①期日/回数 6~10月/3回</li> <li>②延べ 29人</li> <li>③実施内容 フラワーアレンジメントの制作</li> </ul>	

**【評価及び今後の方向性】**

講座の改廃については、創作教室を4講座から3講座に減らし、新たに苔玉教室を追加して実施した。

前年度と比較し、全体の講座数は11講座で変動はないが、延べ回数は70回に対し58回に、延べ人数は760人に対し695人と減少したが、パソコン教室の実施回数を28回から17回に減らしことが要因であり、それ以外はほぼ平年並みであった。

今後も町民ニーズの把握に努め、講座の改廃や内容の創意工夫を行いながら、各種講座の実施に努めていく。

**II. 社会教育（4. 社会教育推進体制の充実）**

具体的施策	事業の内容
(1) 指導体制の充実	1) 社会教育委員会議 社会教育に関する事業計画、事業実績等の審議を行うため、社会教育委員を委嘱し、会議を開催した。 ○委員数 10人 ○会議数 3回 第1回 令和元年 5月21日(火) 第2回 令和元年10月25日(金) 第3回 令和2年 3月18日(水) ○内 容 教育委員会事務局(社会教育係・社会体育係)及び公民館、図書館、世界遺産推進室、文化遺産センターに関わる事業計画及び事業実績の審議、平泉の社会教育について等

**【評価及び今後の方向性】**

社会教育の各事業に対し活発な審議が行われ、各事業の進捗状況の把握や今後の事業展開などの意見交換がなされ、各委員からの意見等に基づき事業を精査し、年度内の事業改善や次年度の事業計画に反映させられるよう努めた。

**II. 社会教育（4. 社会教育推進体制の充実）**

具体的施策	事業の内容
(2) 社会教育関連施設の整備と利用促進	1) 図書館運営の方針・運営内容 住民の多様な学習ニーズに対応するため、必要な資料等の収集・活用、整理保存を行い、情報センターとしての役割を果たすとともに、利用しやすい図書館運営と利用者サービスの充実を図った。 ①多様な情報提供と環境整備 入館者 13,126人(対前年度 82%) 貸出者 6,407人( " 92%) 図書貸出冊数 23,030冊( " 96%) リクエスト冊数 49冊( " 108%) レファレンス件数 38件( " 73%)

	<p>蔵書冊数 29,120 冊 うち年間購入冊数 987 冊</p> <p>18 時～19 時の入館者数 1 日平均 1.68 人（同前年度 2.66 人）</p> <p>図書貸出システム登録者 2,310 人</p> <p>②地域支援課題の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回図書の実施 町内 1 箇所×2 回×30 冊=60 冊 町内 2 箇所×4 回×30 冊=240 冊 町内 1 箇所×4 回×90 冊=360 冊</li> <li>・ブックスタート支援（9 カ月児健診受診親子対象） 保健センター「ピヨピヨ広場」で絵本の読み聞かせ</li> </ul> <p>③幼児、児童、生徒等の学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生図書館職場体験受入れ</li> <li>・図書館主催お話し会開催（10 回）参加者 222 人</li> <li>・文に親しむ講座 参加者 66 人</li> </ul> <p>④他図書館及び関係機関との連携・協力</p> <p>他公立図書館との相互貸借、学校図書館への図書団体貸出しの実施</p>
--	---

**【評価及び今後の方向性】**

年間入館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響などで前年度より 2,769 人減、全体的な貸出し冊数も 767 冊減となった。多くの方々に図書館を利用してもらうための取り組みとして、毎月の企画展をPRする「暮らしの泉」を発行した。また、教育振興運動のノーマディアデーの推進を目的に各小中学校児童・生徒とその保護者向けにも企画展をPRする文書を配布した。企画展ごとにテーマに応じた本の情報を提供し、町民に知ってもらうことで、利用促進につながったと考えられる。今後も継続的に取り組んでいきたい。

図書購入については、利用者のニーズや傾向を勘案しながら、幅広いジャンルや世代に応じた蔵書を購入していく。管内は建物が古く蔵書スペースが限られていることから、更に厳選した選書を行う必要がある。図書館が生涯学習の拠点として、また、町民の文化・学習施設としてより利用しやすい環境の整備に努めていく。

**Ⅱ. 社会教育（4. 社会教育推進体制の充実）**

具体的施策	事業の内容
(3) 社会教育 団体援助	<p>1) ゆうゆう学びランド事業</p> <p>地区公民館活動を支援するため、地区が行う講習会や地域活動等に要する費用のうち、講師謝金（1 回 7,000 円）を助成する「ゆうゆう学びランド事業」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①実施地区 13 地区（延べ18 回）</li> <li>②参加人数 延べ270 人</li> <li>③助成金額 @7,000 円×18 回=126,000 円</li> <li>④地区別実績</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 区 10/11 牛乳パック椅子作り 13 人</li> <li>12/21 しめ縄作り 13 人</li> <li>・ 2 区 10/14 キャンドル制作 15 人</li> <li>・ 5 区 7/25 デコバージュ制作 12 人</li> <li>・ 6 区 9/16 リース作り 24 人</li> <li>・ 11 区 7/20 町内会防災まちづくり懇談会 25 人</li> <li>10/17 布バック作り 15 人</li> <li>・ 12 区 10/18 クリスマスリース作り 9 人</li> <li>・ 13 区 12/7 料理教室 11 人</li> <li>12/22 しめ縄作り教室 53 人</li> <li>・ 14 区 10/19 フォトフレーム作り 11 人</li> <li>10/20 フォトスタンド作り 11 人</li> <li>・ 15 区 8/4 エコたわし作り 14 人</li> <li>・ 16 区 12/22 正月用生花教室 10 人</li> <li>・ 18 区 12/29 生花教室 10 人</li> <li>・ 19 区 10/16 手芸講習（カーテン留め作り） 7 人</li> <li>・ 21 区 9/1 ヨガ教室 8 人</li> <li>12/28 生花教室 9 人</li> </ul>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>地区公民館 22 個所のうち約半数の 13 地区が実施し、前年度（11 地区・16 回）よりも若干増加したものの、実施しない地区も多いことから、引き続き事業の周知と各地区への働きかけを行いながら全地区の実施に努めていく。</p>	

## II. 社会教育（4. 社会教育推進体制の充実）

具体的施策	事業の内容
(3) 社会教育 団体援助	<p>2) 補助金の交付</p> <p>社会教育団体の活動の活発化を図るため、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①平泉町地域婦人団体協議会活動費補助金 70,000 円</li> <li>②平泉町芸術文化協会活動費補助金 100,000 円</li> <li>③平泉ユネスコ協会活動費補助金 80,000 円</li> <li>④父母と教師の集い開催事業費補助金 120,000 円</li> <li>⑤平泉町芸術文化祭実行委員会活動補助金 200,000 円</li> <li>⑥教育振興運動実践区活動費補助金 60,000 円</li> </ul>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>各社会教育団体の主体的な活動を促し、活動の活発化を図ることができた。</p> <p>町の社会教育を振興するにあたり、社会教育団体の活動の活性化は不可欠であり、補助金交付の適正化を図りつつ、今後も継続して活動を支援していく。</p>	

### Ⅲ.文化行政（１.文化芸術の振興）

具体的施策	事業の内容
(1) 芸術鑑賞会の拡充	1) 南部神楽鑑賞会 伝承されている伝統文化の継承のため、神楽大会を開催した。 日時 令和元年12月7日 会場 平泉文化遺産センター ふれあいホール 内容 大森神楽保存会ほか5団体による神楽演舞を鑑賞 入場者数 150名
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 神楽などの伝統文化は、平泉町の歴史や文化、風土を町内外に発信する上で大きな役割を担っており、今後も、後継者育成活動など後世に伝統芸能を伝えていく環境整備に努める必要がある。優れた芸術文化団体が活動することができる鑑賞の機会の提供と、各団体が継続的に活動出来るよう活動・発表の場の支援に努めた。 今後も、町民の自主的な活動を支援していく。	

### Ⅲ.文化行政（１.文化芸術の振興）

具体的施策	事業の内容
(1) 芸術鑑賞機会の拡充	2) 青少年劇場の開催 児童・生徒に優れた芸術の鑑賞を通して、心豊かな情操と健全育成を図った。 ○期 日 令和元年6月27日(木) ○会 場 平泉小学校体育館 ○参加者 町内小学5・6年生、中学1年生 計186人 ○内 容 語り芝居 「美しいことば 美しいひびき」 3) 小・中学生郷土芸能体験講座 Ⅱ.社会教育（3.生涯の各時期における社会教育活動の推進） 1) 放課後子ども教室 土曜学習「神楽体験講座」として評価
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 小・中学生を対象にした芸術鑑賞は、日常では鑑賞することが出来ない専門家による優れた舞台芸術を肌で感じる事ができた良い機会となった。今回の語り芝居では、プロの美しい語りと和楽器の心地よい音楽によって、聞き手に物語の情景を想像させ、引き込む力があり、参加した子どもたちに貴重な体験をさせることができた。	

### Ⅲ.文化行政（1.文化芸術の振興）

具体的施策	事業の内容
<p>(2) 芸術文化団体の育成</p>	<p>1) 町芸術文化協会活動支援            総会、役員会、各種発表会（舞台部門発表会・いわい地方美術展）の活動支援を行った。</p> <p>①町芸術文化協会舞台部門発表会            日時 令和2年2月15日            会場 平泉小学校体育館            内容 謡曲、詩吟、舞踊、和太鼓、民謡、神楽団体の発表            入場者数 350名</p> <p>②いわい地方美術展への作品の出品            日時 令和元年11月16日・17日            会場 大東コミュニティセンター            その他 出展数 39点</p> <p>③各種サークル、団体への会場の提供            町内の各種芸術文化団体が活動することができるよう活動・発表の場の提供と支援を行った。</p> <p>会場 平泉文化遺産センター            団体 俳句（4月、7月、12月）            茶道、お琴（8月）            管楽器（12月）</p>
<p>【評価及び今後の方向性】</p> <p>各種芸術文化団体が自主的・継続的に活動することができるよう活動・発表の場の提供に努めた。</p> <p>引き続き、団体の育成支援に努める。</p>	

### Ⅲ.文化行政（2.文化財の保護と活用）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 文化財の保護管理</p>	<p>1) 史跡の維持管理</p> <p>①観自在王院跡維持管理…4月～11月            作業員を雇用し、維持管理に努めた。</p> <p>②無量光院跡、花立廃寺、白山社跡、中尊寺跡維持管理            6月～11月、平泉町シルバー人材センターに委託し実施した。</p> <p>③柳之御所遺跡維持管理…6月～11月            岩手県事業を13区が受託し実施した。</p> <p>④毛越寺弁天池…6月～11月            国有地となっている毛越寺庭園内の弁天池の草刈を毛越寺に委託した。</p>



	<p>2) 無量光院跡保存修理事業 特別史跡無量光院跡の史跡整備に向けて、次の事業を行った。</p> <p>①内容確認調査 無量光院跡東側において、無量光院以前の築地塀を確認した。 期間：令和元年 8 月～11 月 面積：120 m<sup>2</sup></p> <p>②復元整備 池北側（池底・護岸）、せん敷、階段の整備</p> <p>3) 観自在王院跡保存修理事業 旧観自在王院庭園の将来的な再整備に向けて、次の事業を行った。</p> <p>①内容確認調査 観自在王院南東側において、西側を区画する土塁と溝を確認した。 期間：令和元年 10 月～12 月 面積：120 m<sup>2</sup></p> <p>②整備基本計画策定 将来的な再整備に向け、整備の基本的な考え方や方針を記した整備計画を策定した。</p> <p>4) 名勝おくのほそ道の風景地保存活用計画策定事業 名勝おくのほそ道の風景地（金鷄山・高館・さくら山）に指定された範囲の保存管理と将来的な活用に向けた方針となる保存活用計画を策定した。</p> <p>5) 中尊寺跡内容確認調査 中尊寺大池跡西側平坦面を対象として、内容確認調査を実施した。その結果、礎石建物跡の一部とみられる遺構を確認し、かわらけ、国産陶器、瓦等の遺物が出土した。 期間：令和元年 10 月～12 月 面積：150 m<sup>2</sup></p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>町内史跡地の環境整備を行い、文化財の保存・活用のため、より良い環境の維持に努めた。</p> <p>無量光院跡や中尊寺大池跡の調査では、史跡の全容解明に向けた貴重な資料を得ることができた。その調査成果を基に無量光院跡では池北側（池底・護岸）、せん敷、階段の整備を行い、史跡の保護・公開活用に更に資すると思われる。</p> <p>旧観自在王院庭園では整備基本計画、名勝おくのほそ道の風景地では保存活用計画の策定を行い将来的な保護に向けた計画を策定することができた。</p> <p>引き続き、遺跡の保護、復元整備に全力を傾け、今後も後世に伝えていくため、環境整備に努めていく。</p>	

### Ⅲ.文化行政（２．文化財の保護と活用）

具体的施策	事業の内容
<p>(2) 埋蔵文化財の保護</p>	<p>1) 埋蔵文化財緊急発掘調査 遺跡内における建設工事や宅地開発等について、関係機関の協力を得ながら、埋蔵文化財の保護に努めた。</p> <p>①発掘調査（8件） 遺跡内での個人住宅等の建築に先立ち、発掘調査を実施し記録保存を図った。</p> <p>②工事立会（32件） 遺跡内で小規模な工事、もしくは埋蔵文化財を壊さない範囲での工事が行われる場合には埋蔵文化財の有無を確認するための工事立会を行った。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b> 発掘調査の実施により、適切な遺跡の保護措置をとり、埋蔵文化財と開発事業との調和を図ることができた。</p>	

### Ⅲ.文化行政（２．文化財の保護と活用）

具体的施策	事業の内容
<p>(3) 文化財の公開・活用</p>	<p>1) 発掘資料の収蔵管理 前年度に実施した発掘調査についての室内整理を行い、調査で得た遺跡の調査図面、記録写真、出土品を整理し、資料として収蔵した。</p> <p>2) 発掘調査出土品の展示 平成30年度の調査速報展と日本遺産認定出土遺物展示の二つのミニ企画展を文化遺産センターで開催し、来館者へ公開した。</p> <p>①遺物速報展示（祇園Ⅰ遺跡4次出土遺物） ②日本遺産認定出土遺物展示</p> <p>3) 現地説明会、遺跡報告会の開催 発掘成果を分かりやすく公表するため、現地説明会を開催した。 なお、例年3月に開催している町内遺跡発掘調査報告会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。</p> <p>①無量光院跡第46次現地説明会 日時：令和元年10月19日</p> <p>②中尊寺跡第94次現地公開 日時：令和元年11月13日</p>

**【評価及び今後の方向性】**

発掘調査により出土した資料を整理して、記録類を適切に保管した。また、祇園 I 遺跡 4 次調査出土遺物を展示・公開し、文化財に対する知識と理解を深めた。

発掘調査の成果を分かりやすく公表するため、現地説明会と遺跡報告会を開催し、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。

また、最新の出土品を特別展示するなど、町の歴史・文化への理解を深め、普及啓発に努めた。

引き続き公開活用を行い、文化財保護について理解を図っていく。

**Ⅲ. 文化行政（2. 文化財の保護と活用）**

具体的施策	事業の内容			
(3) 文化財の公開・活用	4) 平泉文化遺産センターの利用促進			
	①平泉文化遺産センターの入館者実績			
	令和元年度実績は利用者 34,069 人で平成 30 年度に比べ 4,468 人減少した。			
	月	展示室観覧者数 (人)	施設利用数 (人)	利用者合計 (人)
	4 月	3,161	346	3,507
	5 月	4,264	25	4,289
	6 月	2,655	340	2,995
	7 月	2,643	606	3,249
	8 月	4,850	372	5,222
	9 月	3,299	372	3,671
	10 月	3,088	196	3,284
	11 月	2,620	145	2,765
	12 月	860	681	1,541
	1 月	754	395	1,149
	2 月	952	358	1,310
3 月	1,036	51	1,087	
合計	30,182	3,887	34,069	

**【評価及び今後の方向性】**

入館者数については、企画展を開催し、リピーターの確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い 2・3 月の来場者が大幅に減少したことが原因で入館者数が減となっている。

### Ⅲ.文化行政（ 3.文化的環境の整備）

具体的施策	事業の内容																		
<p>(1) 文化財愛護思想の普及</p> <p>(2) 推進体制の充実</p>	<p>1) 文化財愛護少年団活動支援 文化財を活用した体験学習や募金活動、宿泊研修の活動を通じて、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。</p> <p>2) 平泉ユネスコ協会活動支援 平泉ユネスコ協会が行う活動を支援し、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。</p> <p>3) 文化財防火訓練の実施 消防関係者、文化財関係者、教育関係者及び地域住民が協力して、実施した。 令和2年1月26日開催（中尊寺、毛越寺） ※第66回文化財防火デー関連事業</p> <p>1) 文化財調査委員の設置 文化財の保護、調査研究を進めるため、調査委員会議を開催し、有形文化財や埋蔵文化財発掘調査への指導を得ることができた。 第1回 令和元年8月21日 第2回 令和元年12月2日 第3回 令和2年3月3日</p> <p>2) 岩手県史跡整備市町村協議会活動の実施 史跡等が所在する県内32市町村で組織し、文化財担当者研修や、文化財関係予算の確保・要望活動を行っている。会長には平泉町長が就任しており、事務局を平泉文化遺産センターが行っている。</p> <table border="1" data-bbox="512 1189 1469 1603"> <thead> <tr> <th colspan="2">期 日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6月21日</td> <td>岩手県史跡整備市町村協議会総会（矢巾町）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7月4日 ・5日</td> <td>全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会及び研修会（青森県青森県）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月1日 ～3日</td> <td>全国史跡等整備市町村協議会総会及び研修会（奈良県橿原市）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11月20日</td> <td>国会議員への予算陳情（東京都）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月26日 ・27日</td> <td>文化財担当者研修会（宮古市）</td> </tr> </tbody> </table>	期 日		内 容	1	6月21日	岩手県史跡整備市町村協議会総会（矢巾町）	2	7月4日 ・5日	全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会及び研修会（青森県青森県）	3	10月1日 ～3日	全国史跡等整備市町村協議会総会及び研修会（奈良県橿原市）	4	11月20日	国会議員への予算陳情（東京都）	5	11月26日 ・27日	文化財担当者研修会（宮古市）
期 日		内 容																	
1	6月21日	岩手県史跡整備市町村協議会総会（矢巾町）																	
2	7月4日 ・5日	全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会及び研修会（青森県青森県）																	
3	10月1日 ～3日	全国史跡等整備市町村協議会総会及び研修会（奈良県橿原市）																	
4	11月20日	国会議員への予算陳情（東京都）																	
5	11月26日 ・27日	文化財担当者研修会（宮古市）																	
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>町ユネスコ協会への活動支援や文化財防火訓練の実施により、平泉文化の理解を深めるとともに、世界遺産の拡張登録への機運醸成が図られた。</p> <p>文化財調査委員会議の開催、岩手県史跡整備市町村協議会活動により、文化財の保護、調査研究の促進が図られた。</p>																			

### Ⅲ.文化行政（４．世界遺産登録の推進）

具体的施策	事業の内容
(1) 世界遺産 推進	<p>1) 世界遺産拡張登録の推進</p> <p>① 拡張登録に向けた動き          県・一関市・奥州市によるワーキング(担当者会議)の開催          縣市町課室長会議の開催          以下の会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、延期や書面協議対応となった。          第16回世界遺産拡張登録検討委員会(延期)          岩手県世界遺産保存活用推進協議会(書面協議)</p> <p>② 世界遺産条約履行のための作業指針第172項に基づく調査・整備計画書の提出          中尊寺大池の調査成果及び無量光院跡の調査・整備計画について、ユネスコ世界遺産センターに提出する報告書を英語に翻訳し提出した。</p> <p>③ 世界遺産林説明看板設置          将来の文化財建造物の補修に用いる木材確保を目的とした世界遺産林の説明板を整備した(平泉町平泉字大沢 179-31)。</p> <p>2) 世界遺産学習の推進</p> <p>① 第20回世界遺産講演会          日時 令和元年6月29日          会場 平泉文化遺産センター          内容 演題 「世界文化遺産とまちづくり～まちづくりを“主体的”に“長く続ける”ために」          講師 NPO法人日光門前まちづくり          理事長 岡 井 健 氏          参加者数 50名</p> <p>② 「平泉・小笠原」企画展          期間 令和元年12月1日～14日          会場 東京都庁 観光情報センター</p> <p>③ 世界遺産拡張資産巡回バスの運行          日時 令和元年10月29日          コース (午前) 観自在王院跡－達谷窟－骨寺村荘園遺跡          (午後) 長者ヶ原廃寺跡－白鳥館遺跡－          無量光院跡－柳之御所遺跡          参加者数 25名</p>
	<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>平泉の文化遺産の重要性の理解と、将来の世代に伝えていくため、各種団体と連携を図りながら、世界遺産としての価値や理念の普及に努めた。</p> <p>今後も、各種事業を通じて、平泉文化の持つ魅力や価値を町内外の人に伝えていく必要がある。</p>

### Ⅲ.文化行政（４.世界遺産登録の推進）

具体的施策	事業の内容																					
(2) 世界遺産に係る普及啓発	1) 広報・ホームページによる情報発信 町ホームページや町広報誌に掲載して、「平泉の文化遺産」の情報発信や普及啓発に努めた。 2) 各種講座等の開催 ①ときめき世界遺産塾の開催 県南地域の小中学生を対象に、世界遺産についての学習を通して、平泉の文化遺産や郷土の歴史・文化について理解を深めた。延べ70名が参加した。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">期 日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8月8日</td> <td>開講式、中尊寺・毛越寺見学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8月24日 ・25日</td> <td>県外研修 瑞巖寺（宮城県）・立石寺（山形県）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9月7日</td> <td>接待館、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月5日</td> <td>稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月9日</td> <td>平安時代のお菓子作り体験と俳句を詠む</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12月14日</td> <td>閉講式、活動記録の振り返り</td> </tr> </tbody> </table>	期 日		内 容	1	8月8日	開講式、中尊寺・毛越寺見学	2	8月24日 ・25日	県外研修 瑞巖寺（宮城県）・立石寺（山形県）	3	9月7日	接待館、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学	4	10月5日	稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学	5	11月9日	平安時代のお菓子作り体験と俳句を詠む	6	12月14日	閉講式、活動記録の振り返り
	期 日		内 容																			
	1	8月8日	開講式、中尊寺・毛越寺見学																			
	2	8月24日 ・25日	県外研修 瑞巖寺（宮城県）・立石寺（山形県）																			
	3	9月7日	接待館、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学																			
	4	10月5日	稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学																			
	5	11月9日	平安時代のお菓子作り体験と俳句を詠む																			
	6	12月14日	閉講式、活動記録の振り返り																			
	3) 平泉町世界遺産推進協議会の運営 令和元年度会員数 329人（町内外、個人・団体）																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">期 日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6月5日</td> <td>役員会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6月28日</td> <td>総会及び講演会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月8日</td> <td>研修 出羽三山神社（山形県）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1月25日</td> <td>《スピリット OF 平泉》-P2-発刊事業&amp;近藤誠一先生と熱くトークセッション</td> </tr> </tbody> </table>	期 日		内 容	1	6月5日	役員会	2	6月28日	総会及び講演会	3	10月8日	研修 出羽三山神社（山形県）	4	1月25日	《スピリット OF 平泉》-P2-発刊事業&近藤誠一先生と熱くトークセッション							
期 日		内 容																				
1	6月5日	役員会																				
2	6月28日	総会及び講演会																				
3	10月8日	研修 出羽三山神社（山形県）																				
4	1月25日	《スピリット OF 平泉》-P2-発刊事業&近藤誠一先生と熱くトークセッション																				
4) 「平泉の文化遺産」価値の共有化の推進 ①平泉世界遺産の日「平和の祈り」 世界遺産平泉に込められた平和・平等の理念を世界に向けて発信する。 日時 令和元年7月1日 会場 観自在王院跡 内容 町内僧侶による練行・法要 コーラス団体による合唱 平泉小学校、長島小学校による「平泉讃歌」合唱 世界平和メッセージ 参加者 350名 ②環境整備の日 平泉の景観を守るとともに、世界遺産のまちにふさわしい環境にするため、基準日を設定して、環境整備活動を実施した。（基準日：令和元年6月23日）																						

**【評価及び今後の方向性】**

ときめき世界遺産塾講座等の各種講座を通じて、平泉の文化遺産や郷土の歴史・文化について理解を深めることができた。

世界遺産登録から8年経過し、これまでの活動の検証を行い、今後の活動について見直しをする必要がある。

#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容
(1) 生涯スポーツ推進体制の整備充実	1) スポーツ推進委員会議の開催 社会体育振興や各種スポーツ大会等について、会議を開催し協議を行った。 ① 4月25日 平成31年度社会体育事業について ② 7月23日 東北地区スポーツ推進委員研修会について ③ 8月19日 壮年ソフトボール大会について ④ 9月12日 日報駅伝大会について ⑤ 11月12日 ニュースポーツ講習会について ⑥ 3月30日 令和元年度生涯スポーツ事業報告について 2) 地区スポーツコーディネーター会議の開催 町と一体となって行政区のスポーツ・レクリエーション事業を円滑に進めるため会議を開催した。 ① 6月6日 令和元年度社会体育事業計画
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 町内の関係者と連絡調整を綿密に行い、スポーツ・レクリエーション大会を行うことができた。 引き続き、関係者との十分な情報共有を図る必要がある。	

#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容
(2) スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進	1) スポーツ推進委員関係 スポーツ推進委員を各種研修会へ派遣し、資質の向上を図った。 ① 一関地方スポーツ推進委員協議会総会 総会 4人 研修会 4人 ② 東北地区スポーツ推進委員研修会 講演、研修会 中止 2) 出前スポーツ教室での指導者の活用 出前スポーツ教室にスポーツ推進委員を派遣し、指導・助言を行った。
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 資質の向上を図るため各種研修会・講習会へスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ教室等での的確な指導・助言を行った。 引き続き、各種研修会での資質の向上を図る必要がある。	



#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容																																				
<p>(3) スポーツ・レクリエーション実践活動の促進</p>	<p>1) スポーツ・レクリエーション大会、教室            体育協会との連携事業であるふるさとオリンピア2019、各種スポーツ大会・教室等を展開し、数多くの町民の参加があった。</p> <p>○ふるさとオリンピア2019（6種目）</p> <table border="0"> <tr> <td>①グラウンドゴルフ</td> <td>6月9日</td> <td>12行政区</td> <td>約48人</td> </tr> <tr> <td>②インディアカ</td> <td>6月23日</td> <td>8行政区</td> <td>約43人</td> </tr> <tr> <td>③ゲートボール</td> <td>7月20日</td> <td>4行政区</td> <td>約25人</td> </tr> <tr> <td>④壮年ソフトボール</td> <td>8月26日 ～29日</td> <td>19行政区</td> <td>約500人</td> </tr> <tr> <td>⑤バスケットボール</td> <td>9月22日</td> <td>9行政区</td> <td>約89人</td> </tr> <tr> <td>⑥バドミントン</td> <td>12月1日</td> <td>9行政区</td> <td>約85人</td> </tr> </table> <p>○出前スポーツ教室            幼稚園保育所、町民等 年間20教室1,351人</p> <p>*町主催スポーツ教室参加者数            H30年度1,380人、R1年度1,161人、(H32年度目標2,050人)</p> <p>2) 大会支援事業            11月23日開催の日報駅伝大会を支援し、平泉中継所業務及び平泉地内コースにおける交通安全業務を行い運営に協力した。</p> <p>3) 夢の教室事業            夢先生（サッカーを含めた様々なスポーツ選手、OB/OG）の授業を通じ、「夢を持つこと」や「夢に向かって努力すること」の大切さを学ぶことで、児童一人ひとりに自己肯定感や好ましい人間関係を築ける協調性、基本的な道徳観が身につくように支援した。</p> <p>※日本サッカー協会「こころのプロジェクト夢の教室」を活用</p> <table border="0"> <tr> <td>6月4日</td> <td>長島小学校</td> <td>5年生</td> <td>参加児童18人</td> </tr> <tr> <td>6月5日</td> <td>平泉小学校</td> <td>5年生</td> <td>参加児童39人</td> </tr> <tr> <td>6月6日</td> <td>平泉中学校</td> <td>2年生</td> <td>参加生徒63人</td> </tr> </table>	①グラウンドゴルフ	6月9日	12行政区	約48人	②インディアカ	6月23日	8行政区	約43人	③ゲートボール	7月20日	4行政区	約25人	④壮年ソフトボール	8月26日 ～29日	19行政区	約500人	⑤バスケットボール	9月22日	9行政区	約89人	⑥バドミントン	12月1日	9行政区	約85人	6月4日	長島小学校	5年生	参加児童18人	6月5日	平泉小学校	5年生	参加児童39人	6月6日	平泉中学校	2年生	参加生徒63人
①グラウンドゴルフ	6月9日	12行政区	約48人																																		
②インディアカ	6月23日	8行政区	約43人																																		
③ゲートボール	7月20日	4行政区	約25人																																		
④壮年ソフトボール	8月26日 ～29日	19行政区	約500人																																		
⑤バスケットボール	9月22日	9行政区	約89人																																		
⑥バドミントン	12月1日	9行政区	約85人																																		
6月4日	長島小学校	5年生	参加児童18人																																		
6月5日	平泉小学校	5年生	参加児童39人																																		
6月6日	平泉中学校	2年生	参加生徒63人																																		
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p>	<p>継続的で自発的なスポーツ・レク活動の普及を各種事業実施により図った。「ふるさとオリンピア」については多くの町民の参加が得られるよう、体育協会と連携しながら引き続き検討していきたい。</p>																																				

#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容
<p>(4) スポーツ・レクリエーションの実践団体の育成</p>	<p>1) 町体育協会の支援            スポーツ競技人口の拡大を促進するため、協会の組織強化を支援した。            ・補助金額 882,000 円            ・補助内容 ①各単位協会への活動費補助                              ②県民体育大会参加旅費の補助                              ③ふるさとオリンピア、町内大会の開催補助                              ④栗登一平交流事業</p> <p>2) 町スポーツ少年団本部の支援            指導者育成等を通してスポーツ少年団活動を支援した。            ・補助金額 540,000 円            ・補助内容 各単位スポーツ少年団への活動費補助等</p> <p>3) 総合型地域スポーツクラブ育成補助金            総合型地域スポーツクラブ設立に向けた活動を支援した            ・補助金額 100,000 円            ・会議の開催、プレ事業（ホップステップクラブ）、用具購入</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>競技力の向上に努めるとともに、青少年へのスポーツ振興や心身の健全育成を図るため、体育協会、スポーツ少年団への支援を継続して行った。また、新たに総合型地域スポーツクラブ設立のための活動に対し設立実行委員会へ指導助言及び支援を行った。</p> <p>町の財政状況を勘案しつつ、各団体が活発に活動できるよう引き続き支援を継続していくとともに、併せて各団体の組織強化を検討していく必要がある。</p>	

#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容
<p>(5) 広報活動の充実</p>	<p>1) 町広報を通じた体育関係行事の周知            毎月発行の町広報のスポーツコーナーで各種大会結果や、大会案内を掲載した。</p> <p>2) インターネットを活用した事業紹介            出前スポーツ教室事業のメニューや活動内容を掲載するなど、町民へスポーツに関する情報提供を行った。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>広報ひらいずみやインターネット等の広報活動を通じ、町民のスポーツ活動に対する意識の啓発、参加促進に努めた。</p> <p>広報の記事内容の充実化に努めるとともに、インターネット情報の定期的な更新が必要である。</p>	

#### IV. 生涯スポーツ（1. スポーツ・レクリエーションの活性化）

具体的施策	事業の内容
<p>(6) 体育施設の整備と活用の促進</p>	<p>1) 体育施設の開放と利用促進  社会体育施設、学校体育施設を開放し、町民にスポーツの場を提供し、スポーツの日常化を推進した。</p> <p>○社会体育施設</p> <p>①町立長島体育館      4月1日～3月31日      5,792人  ②町営長島球場      4月1日～11月30日      3,529人  ③町営テニスコート    4月1日～11月30日      2,132人</p> <p>○学校体育施設</p> <p>①平泉小学校（体育館、校庭）  4月1日～3月31日    7,438人  ②長島小学校（体育館、校庭）  4月1日～3月31日    4,781人  ③平泉中学校（体育館、校庭、柔剣道場）  4月1日～3月31日    10,131人</p> <p>2) 施設管理・整備体制の充実  町立長島体育館及び町営テニスコートクラブハウスに管理人を配置し、社会体育施設（3施設）の施設管理を通年行った。</p> <p>3) 社会体育施設整備等  各施設の修繕工事等を行い、適正管理に努めた。</p> <p>町立長島球場  平泉町営長島球場内野グラウンド整備  1,045,000円</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>体育施設の維持管理の充実を図るとともに、町民のスポーツの促進を図るため開放を積極的に行った。</p> <p>スポーツの利用促進のため引き続き、維持管理体制の充実に努める。</p>	

V. 新社会教育施設整備事業（1. 社会教育施設整備の促進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 社会教育施設整備の促進</p>	<p>1) 事業者選定  社会教育施設の整備に係る事業者の選定を社会教育施設整備事業アドバイザー業務により決定した。</p> <p>①アドバイザー業務委託  DBO方式により社会教育施設整備を行うための手法等に関するアドバイス業務  委託先 八千代エンジニアリング株式会社  契約金額 23,868,000円（平成30年度から繰越）</p> <p>②提案書受付  6月28日～9月27日 町ホームページにて周知  2社から提案有</p> <p>③社会教育施設整備事業者選定委員会  ・事業者選定委員  平野 勝也 東北大学准教授  小野寺 郁夫 小野寺設計室  千葉 義信 社会教育委員議長  斎藤 清寿 副町長  岩 潤 実 教育長</p> <p>・選定委員会の開催  5月22日 事業者選定基準等について  10月15日 審査方法、応募者の提案内容について  11月13日 本採点、最優秀提案及び次点の選定について</p> <p>④最優秀提案者  ・平野組グループ  株式会社平野組  株式会社久慈設計  シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社</p> <p>・提案価格  設計建設費 1,115,950,000円  管理運営費 169,399,998円</p> <p>2) 設計業務  町民の意見を建設に反映させるため、公民館、図書館利用者を中心とした意見徴収の機会を設けるとともに、平泉町重要公共施設デザイン会議の意見を聞きながら事業者との打ち合わせを行った。</p> <p>①住民説明会の開催 3月22日 18名参加  ②打ち合わせ会議 5回開催</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>新たな整備方法である DBO 方式を確実にを行うため、専門的知識を有する事業者からアドバイスを受けながら一連の業務をスムーズに進めることができた。</p> <p>今後は、町民の意見を取入れながら事業者と綿密な打ち合わせにより事業を行っていく。</p>	

## 4 評価委員会の意見

### 1) 平泉町教育委員会事務点検評価委員会委員名簿

分野	氏名	備考
学校教育	千葉勝子	元教員
社会教育	野呂美帆	元町体育指導委員
地域代表者	鈴木節郎	12区区長

### 2) 評価委員会の開催状況

第1回評価委員会 7月27日(月) 15:00 ~ 16:50

第2回評価委員会 8月6日(木) 15:00 ~ 16:45

### 3) 評価委員からの質問、意見

#### I. 学校教育

- 特別支援教育支援員の配置について、他市町村と比較してどうか。

(回答)

平泉町では令和元年度において平泉小4人、長島小3人、平泉中3人の計10人を配置しており、配置率は県内でも上位です。近隣市町は各校1名程度の配置となっています。今後も専門家チームによる取り組みを通して改善を図りながら特別支援教育の充実に努めてまいります。

- 中学校では不登校がかなり増えているが、学校の先生方と教育委員会、保護者の間でしか問題を知らないのか。ケース会議に関わったこともあり、児童民生委員や区長にも情報提供してもらえれば、いろいろな面で地域でも協力できることがあると思う。

(回答)

民生委員の方は、どの子どもが不登校傾向にあるかについて把握されている場合もあり、地域の方から親御さんに対する支援が必要な場合など、必要に応じて情報交換しています。個別のケースによりますが、区長さんへの情報提供についても検討したいと思います。

- 特別支援教育については、子どもが心豊かに育ち、親が安心できるよう学校と家庭だけでなく、地域の方からもフォローしてもらえるような仕組みづくりが必要。平泉の子どもをどのように教育していくのか、専門家の講演会などを通じて共通認識を図ることが大切ではないか。

- 人口減少が進む中、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、知能検査などの結果によって特別支援教育が必要な子どもが増加傾向にあることが心配である。不登校などデリケートな問題への対応についても、本人に自信を持たせるよう改善に向けて適確に取り組んでもらいたい。

- 平泉小学校の検診結果を見ると、耳鼻科は 255 人受けて 73 人が、眼科は 61 人が精密検査が必要となっているが、どうしてか。

(回答)

最近アレルギーを持つ子どもが多く、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎、また耳垢がある場合も全て受診勧奨の対象としているため人数が多くなっています。

- コロナウイルス感染症への対応として、平泉町ではオンライン授業や、リモート授業を行うことは考えているか。家庭でインターネット環境が整っていない子どもたちはどうするのか。

(回答)

本年度、国の事業を活用し、コロナウイルス感染症の影響で学校が休校となる場合に備えてオンライン学習ができる環境を整備する予定であり、児童生徒への一人一台の学習用タブレット端末の配置、学校内の通信環境の整備、学校と家庭との通信のためのモバイル Wi-Fi の調達、貸出などを行います。オンライン学習に対応した教材をどう整備するかなど課題も多くありますが、その中でも、インターネット通信料は自己負担となるため、家庭の事情で通信環境が整備できない状況でも、学校のパソコン教室を使用してオンライン授業を行うなど、通信環境による教育の格差が生じないように対応する必要があると考えています。なお、オンライン学習に関する通信料については、就学援助費の対象となります。

- 感染症の影響により学校が休校となった場合でも、人と人とが繋がった教育活動が継続できるように環境整備を進めてもらいたい。

- プログラミング学習やオンライン授業を進めていく中で、長時間にわたる情報メディア利用による児童生徒の心と体への影響が懸念される。健康保持の取り組みが重要になってくるのではないか。

(回答)

ノーメディアデーなどの取り組みを継続するとともに、医学的知見に基づく予防対策についての講演会など、親子で学ぶ機会をつくりながら意識啓発を図ってまいります。

- 英検の全額補助は全員を対象としているのか。また、英語の授業で実施しているのか。

(回答)

英検の全額補助は全員を対象としています。平泉中学校では、英語の授業のほか、放課後に対象者を集めて特別に英検の時間を作ったりしています。

- 必ずしも、3年生は何級を受検する、ということではないか。

(回答)

入学して間もなく、1年生はなかなか受けることができませんし、受けて

も難しいと思われます。3年生の3学期も時間的に受けることができないので、このようなことを踏まえて実施しています。

- 英検は、全員が対象で全額補助としていることはいいと思うが、英語の苦手な子が苦痛にならないかと思う。

(回答)

生徒にとって苦痛にならないように英検5級、4級を何度やっても受からないという場合は検討が必要と考えています。積み重ねの検査もありますので、これらを考慮しながら実施してまいります。

- 奨学金制度については、児童生徒が安心して学業に取り組めるように必要な対応を行っていると思うが、今の就職困難な状況で、償還金の滞納はあるか。

(回答)

育英資金の返済、償還については、万が一、定額の返済が難しい状況となった場合、経済状況に応じて返済計画を変更し、月額返済額を減額する対応をとっています。

今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて返済が難しくなったという相談は今のところ受けていませんが、そのような場合には、納付相談を行い、返済計画の見直しなど個別に対応したいと考えています。

- 育英資金貸付制度について、学びを継続するために経済面での不安を払拭し、子どもたちが自分の希望に向かって進めるような援助を継続してもらいたい。

- 部活動の指導など教職員の超過勤務が増えていることなどを背景に、教職員を志望する人が減少しているのではないかと懸念される。

(回答)

教職員の人員増を図ることが望ましいと考えますが、魅力ある職場づくりのため、働き方改革に力を入れて取り組んでいます。教職員衛生委員会を設置し、タイムカードによる超過勤務の状況把握及び改善を図るなど、教職員の健康保持に努めています。

- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設立に向けた取り組み状況はどうか。

(回答)

令和2年度第1回総合教育会議のテーマにも取り上げていますが、コミュニティ・スクールとは、学校と地域の方が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えるしくみです。令和4年4月の設立、運用開始に向けて、これまで取り組んできた教育振興運動における学校と地域の協働の取り組みをさらに発展させるなど、

学校の応援団として位置づけ、その理想のあり方について、今後、具体的な検討を進めてまいります。

## II. 社会教育

- 平泉学については、伝統行事などを通じて子どもたちが地域の人たちと関わり、あらためて地域のことを知るきっかけとなっている。各行政区で特色ある取り組みが行われており、各地域が事業内容についての情報交換ができる機会があれば、さらに充実したものになると思う。また、全世代型で楽しく学ぶという視点も大切。

### (回答)

自分たちの住んでいる地域をどのようにしたいか、地域みんなで考え、地域の実情に応じて取り組むことが地域の活性化につながると考えています。区長会、婦人会、PTAなどが連携してアイデアを出し合いながら地域学習がさらに充実したものとなるよう各地域の取り組みを促進、支援してまいります。

- 平泉学については、幼稚園での謡や中学生による観光案内ガイド体験など、素晴らしい取り組みであり、継続すべき事業であると思う。
- 放課後子ども教室は、子どもたちにとって地域ボランティアとのふれあいの場となっているが、ボランティアの方の参加状況、確保についてはどうか。

### (回答)

開かれた学校として、PTAだけでなく婦人会の方など地域の方にいろいろな形で子どもたちと関わってもらっています。あらゆる分野にわたって多くの方から協力をもらえるように実施体制を整えてまいります。

- 図書館間で行われている相互貸借のしくみについて、あらためて広く周知を図ってもらいたい。
- 町民講座には、すぐに定員に達してしまう人気がある講座が多いが、できるだけ広く町民が参加できるよう工夫してもらいたい。

- ゆうゆう学びランド事業について、実施事業はどのように決定しているか。

### (回答)

地区公民館長を通じて実施要望を取りまとめています。各地区1事業に限られており、主に地区PTA、婦人会、老人クラブなどの主催事業が実施されています。世代間交流など地域の方が広く参加できるよう、また、行政区総合補助金事業の実施と併せて、各地区の社会教育活動が活発になるよう事業を推進してまいります。



### Ⅲ. 文化行政

- おくのほそ道風景地について、さくら山とはどこか？

(回答)

長島の大文字のさくら山です。

- 大沢に説明案内板を整備していたと思うが、世界遺産の補修に適したような木材はあるか、それとも、これから植林するのか。

(回答)

岩手日報会から寄付を受けて大沢の町有地にヒバなどを植林しました。定期的の間伐しており、木材として使用できるまで育つのに何年後になるか分かりませんが、文化財を補修したり建替える際に使うこととしています。

- 発掘について、一般住宅の新築や改築、増築には、発掘調査の経費の個人負担はあるか。また、店舗併用住宅についてはどうか。

(回答)

発掘調査は工程管理のため事前協議が必要となりますが、個人住宅については国庫補助事業で行うため、建主の方の経費負担はありません。また、店舗併用住宅については、自宅部分と店舗部分を面積案分し、店舗部分の費用を建て主に負担していただいています。

- 町内の店舗が減ってきている中、若い人が起業できるようにするため、店舗併用住宅についても発掘調査費用を無償とすることが必要ではないか。

(回答)

財政的なことも併せて検討します。

- 伝統文化を守り伝える団体に対して必要な支援を行うとともに、中学生を対象とした郷土芸能体験講座など、後継者育成につながる取り組みについても力を注いでほしい。

- 無量光院跡本堂前に敷かれたレンガ状の焼き物である埴(せん)の裏側に、児童生徒がメッセージを貼り設置した事業など、子どもたちが直接文化財にふれあう取り組みは大切なことだと思う。

(回答)

発掘体験など、平泉ならではの体験学習を通じて、文化財の保護と継承の意識啓発の取り組みを継続してまいります。

### Ⅳ. 生涯スポーツ

- 町が委嘱しているスポーツ推進委員やスポーツコーディネーターには、行政区が実施する運動会などのスポーツ行事にも積極的に関わってもらいたい。

- 夢の教室事業は、人材育成のためのキャリア教育として継続して取り組んでもらいたい。

- プロスポーツトレーナーなど専門家による講演や指導などを通じて、ケガをしない体づくりやケガの対処方法などの基礎的知識を習得する機会を設けてはどうか。
- 体育施設の維持管理費に充てるため、使用料の町民からの利用者負担について検討をすることが必要ではないか。

**(回答)**

町民の健康づくりと体力増進のため、使用料の有料化については現時点では考えていませんが、施設管理及び運用のあり方については、今後、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて併せて検討を進めることとしています。

**V. 新社会教育施設整備事業**

- 建設予定地の発掘調査の状況はどうか。(令和2年度の状況)

**(回答)**

発掘調査では井戸跡や柱跡が多く出ています。現在は梅雨の影響で調査が思うように進んでいませんが、今後、作業工程を調整してまいります。

## 5 参考資料

### I 学校教育指導指針

#### 1. 基本方針

学校、家庭、地域が一体となって平泉町教育目標の達成に向け、学校教育の充実と教育水準の向上を期し、教育条件の整備充実を図るとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた取り組みを進めるなかで、それぞれの発達段階及び世界遺産のまち・平泉の特性に応じた、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（たくましい体）の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指す。

#### 2. 重点目標

《生きる力を育む学校教育の推進》

- (1) 確かな学びの保障
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体づくり
- (4) 系統的な「平泉学」学習

#### 3. 重点施策

##### (1) 学校経営・教育課程

###### ① 学校経営の充実

- ・地域の実態及び学校の課題を明らかにし、その課題を踏まえた創意工夫ある学校経営に努める。
- ・学校教育目標、学年目標、学級目標を系統化し、全教職員の共通理解によりその日常実践化を図る。
- ・定期的に経営評価を実践することにより、年次的な重点目標の設定を行い、学校経営の改善に努める。
- ・開かれた学校として、積極的に学校施設を開放するとともに、地域の人々の理解と協力を得、地域に根ざした学校づくりに努める。

###### ② 特色ある教育課程の編成と実施

- ・学習指導要領の趣旨に基づき、地域の実態や学校の課題及び児童生徒の心身の発達や特性に応じた教育課程を編成し実施する。
- ・基礎学力の確実な定着を図るため、各教科と領域の指導内容の精選を行う。
- ・「総合的な学習の時間」の位置づけを明かし、教育課程の弾力化を図る。

##### (2) 学習指導

###### ① 基礎学力の定着を図る学習指導の充実

- ・指導目標及び指導過程の明確化と基礎的、基本的内容をおさえた授業の展開と基本的学習習慣の確立を図る。
- ・問題解決的学習や体験的学習の導入により、学ぶことの楽しさや成就感を与え、主体的な学習態度の育成を図る。
- ・日常の目標に準拠した評価や全国学力・学習状況調査、県学習定着度状況調査・C R T等の検査結果をもとに、学習達成状況の的確な把握に努め、個に応じた指導を工夫する。

- ・ 少人数指導を積極的に導入し、補充的学習・発展的学習を推進する。
  - ・ コンピューター等の教育機器や学校図書館、教育施設の積極的活用を図る。
- ② 計画性のある研修活動の推進
- ・ 各校において、教育課題を明確にした研究研修計画を策定し、指導法の充実深化を図り実践的指導力の向上に努める。
  - ・ 各種研修会、講座等へ課題意識を持って積極的に参加し、有効活用に努める。
  - ・ 主体的な個人研究と充実した校内研究が行われるよう全校・学年・教科等による組織体制を確立する。
- ③ 適正な就学支援に基づく特別支援教育の充実
- ・ 綿密な実態調査と的確な判断に基づく適正な就学支援に努める。
  - ・ 障がいのある幼児児童生徒等への理解を深めるとともに、家庭及び関係機関との連携強化を図る。
- ④ 就学前教育の充実
- ・ 園児の一人ひとりの特性を的確に把握し、遊びを通して周囲の環境と主体的にかかわりあいながら活動できる場の設定を図るとともに、意欲的な人間を目指し、物事に興味関心をもつよう指導・援助する。
  - ・ 生活科を中心とした幼・保・小の相互交流を図り、教師間の相互理解を深める。
  - ・ 積極的な研修の推進と保育実践の充実を図る。
- (3) 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、豊かな心と主体性を培う教育活動の推進
- ① 好ましい人間関係を基盤とした生徒指導の推進
- ・ 児童生徒の基本的な生活習慣や自己指導能力を育成するため、温かくさわやかな人間関係を確立し、幼児児童生徒理解を深め、個と発達段階に応じた指導の充実に努める。
  - ・ いじめや不登校の問題に関しては、早期発見に努め、全職員の共通理解のもと、指導と支援を組織的・継続的に行う。
  - ・ 学校、家庭、地域、関係機関との連携を密にし、生徒指導体制の充実・強化を図る。
- ② 児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成
- ・ 児童生徒の実態を的確に把握し、学校として道徳教育の方針を明らかにし、道徳と各教科等との関連及び家庭や地域との連携を明らかにした全体計画を作成する。
  - ・ 豊かな情操と正しい判断力を育て、道徳的態度や実践力を養うため、各教科や特別活動等との関連を図り体験を通じた道徳的実践の指導を意図的・計画的に行う。
- ③ 自主性を育てる特別活動の充実
- ・ 児童会・生徒会活動における自主的活動の場の設定と指導の工夫を図る。
  - ・ 学級活動を中心に教育活動全般を通して、人間の生き方について考え

- させるとともに啓発的体験を多く取り入れる。
- ・リーダー育成を図り自治能力・自浄能力のある児童生徒会の育成を図る。
- ④ 豊かな心を育む情操教育の重視
- ・読書の奨励と図書館利用を計画的に行い、読書の習慣化を図るとともに豊かな心を育む。
  - ・授業における言語環境の整備と意図的・計画的な掲示教育を組織的に行う。
- ⑤ 実践的な態度の育成を目指す体験学習の充実
- ・地域や学校の実態に即した勤労体験学習の場を計画的に設定する。
  - ・英語指導助手の効果的活用を図り、体験学習の一環として組織的・継続的に国際理解教育の充実を図る。
- (4) 生命を尊重し、健康の保持・増進を目指し、保健、教科体育活動の充実
- ① 体力向上・健康で安全な生活を目指した保健体育、教科体育、安全指導の徹底
- ・学校教育活動全般を通して、幼児児童生徒の体力の向上を図るため、教科体育の充実と自ら進んで心身を鍛える場の工夫に努める。
  - ・健康で安全な生活を送るための知識や技能を習得させ、自他の生命を尊重する能力や態度の育成に努める。
  - ・学校給食のねらいと位置づけを明確にし、好ましい人間関係と食の習慣化を図る。
  - ・交通安全教育に対する家庭の理解を深め、家庭・地域及び関係機関との連携による組織的安全指導に努める。

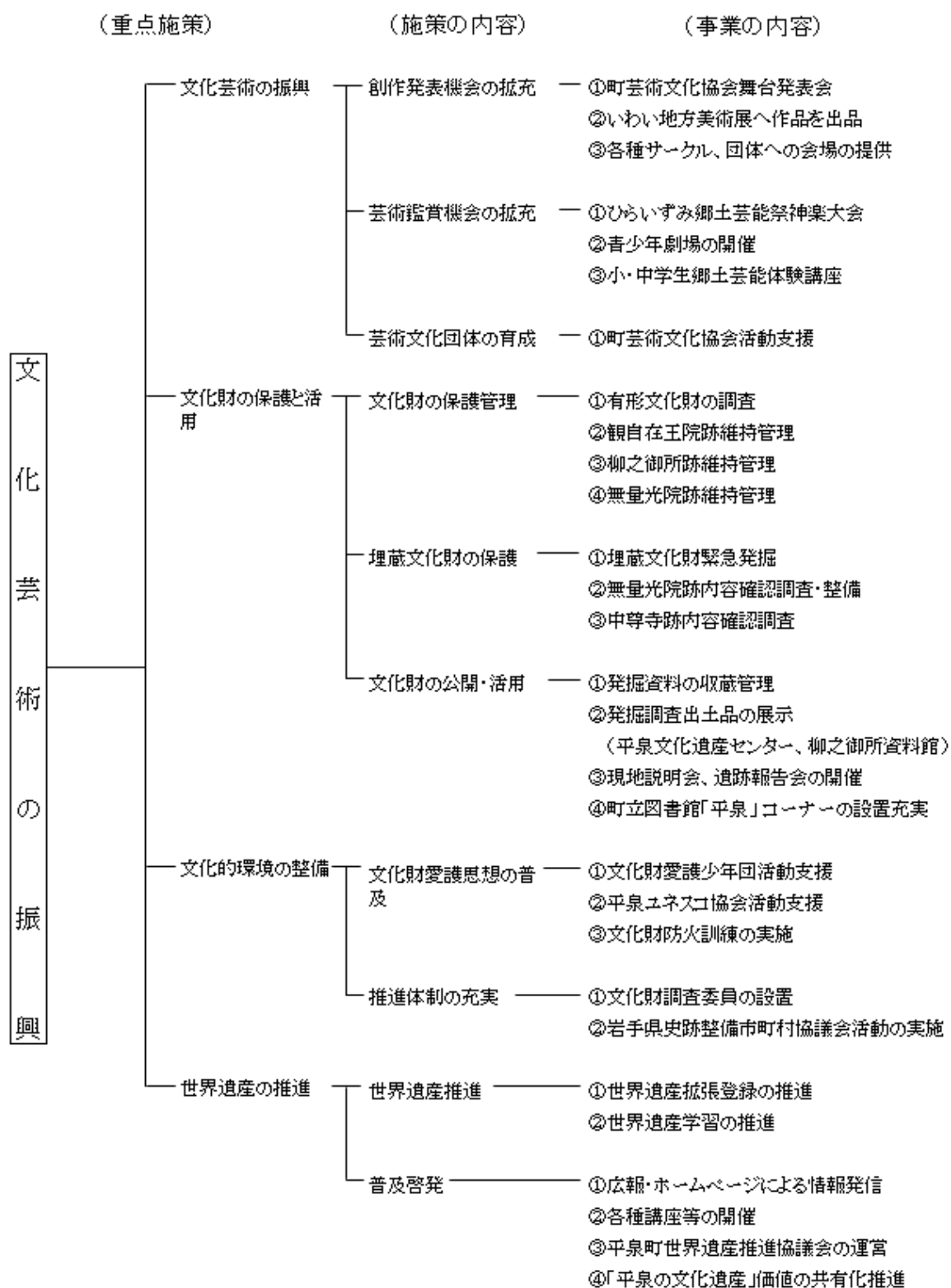
## II 社会教育行政施策体系

社会教育行政施策体系図



### III 文化行政施策体系

文化行政施策体系図



## IV 生涯スポーツ振興体系

平泉町生涯スポーツ振興計画体系図

